



JAPAN
SAILING
FEDERATION

日本セーリング連盟

2020東京オリンピックに向けて 海上運営メンバー育成計画

2018年12月
JSAFレース委員会

はじめに

オリンピックでは参加艇数が少なく、選手のレベルも高いため、運営自体は難しくないが、メディアからの時間指定、選手・コーチが人生をかけて向かってくることに対し完璧なレースを行うプレッシャーは凄まじいと思われる。

World Sailingからレース・オフィサーが派遣されるが、全ての運営を行うわけではなく、1海面30～45人、6海面で240人にもものぼるメンバーの大半は、地元の日本人スタッフにより編成され、主体的にレース運営を行わなければならない。2020東京オリンピックを成功させるためには、優秀なレース運営チームを編成する事が最重要の課題となる。

2019年～2020年

海上運営メンバー育成計画

- 2018年に2020東京が行われる相模湾にてWCS江の島大会が行われ、改めてこの海面での、海上運営メンバーのスキルアップが必須だと課題が見つかった。
- 今後は相模湾にてクリニックをもっと頻繁に開催し、様々な海上気象に対応出来る様に、海上運営メンバーの経験値を積むことが重要である。

2020東京オリンピック 運営メンバー&チーム編成について

海上運営メンバー

- プレオリンピック、2019WCS江の島大会参加者から選抜予定。

チーム編成

- 今までの水域別編成ではなく、個々の運営スキルを考慮し、レース・マネジメントチームジャパン編成予定。

プレオリンピック・2019WCS江の島大会 運営メンバーについて

- **RO** (Course Race Officer Deputy Race Officer
Pin Boat National Technical Officer
Finish National Technical Officer)
各マークレイヤー
コアオペレーター (Signal Boat Time Keeper, Tablet Operator
Signal Boat Flag Operator chief
Finish Recorder)
は、2019年 JSAF Race Management Clinic 参加者
(2~3回以上)から、運営スキルを考慮し、選抜予定。
- オペレーターは、同クリニック参加者から選抜予定。



2020東京オリンピック成功に向け、一致団結して、レベルの高いレース・マネジメントチームジャパンを作りあげて行きたいと考えております。

お忙しいとは存じますが、何卒ご協力の程、よろしくお願い致します。

2018年12月
JSAFレース委員会